

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第6回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	平成26年12月7日(日) 15時00分から17時15分まで
開 催 場 所	吉川市役所 203会議室
出 席 委 員 氏 名	大塚祚保委員長、間宮玲子副委員長、伊藤博章委員
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室副室長 中村詠子、政策室行政改革担当主査 櫻井敬雄 政策室行政改革担当主任 松井 勉
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 第4次よしかわ行財政改革大綱策定について 資料：「第4次よしかわ行財政改革大綱」案 4 その他 5 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、座席表、議案書、参考資料
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	間宮副委員長、伊藤委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
1 開 会 司会（櫻井主査）	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、平成26年度第6回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
大塚委員長	<p>————— 《あいさつ》 —————</p> <p>日曜日で天気の良い日に委員会に参加いただき感謝申し上げます。また、これだけの大量の資料をわずかの時間で確認いただき大変だったと思う。本日も2時間あまりの会議となるがよろしく願います。</p>
司会（櫻井主査）	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>それでは、これより議事に入る。議事の進行については、大塚委員長に願います。</p>
大塚委員長	<p>それでは、議事「第4次よしかわ行財政改革大綱策定」について、資料に沿って検討していく。資料について、章の区切り毎に事務局より報告をお願いします。</p>
松井主任	<p>資料の1頁から3頁の「I これまでの行財政改革の経緯と取り組み」について説明。</p>
伊藤委員	<p>今までの個々の行財政改革の取り組みがあつて、それぞれの課題があつて、次期大綱につながるものだと思う。第2次までは過去のものであるが、第3次については今年度も執行しており、評価をしたらどうなるのかと思い、「総合評価」を作成してみた。追加してはいかがか。</p>
大塚委員長	<p>「総合評価」という項目を付け加えて、内容については重点項目毎に記載してはどうかという提案があつたが皆さんはどう考えるか。</p>
伊藤委員	<p>市の取り組みに市民意識調査の結果を反映していない部分が見受けられるため、原因を考える必要がある。また、協働については、ごみの問題も含めてあまり進んでいないと思われる。アウトソーシングは給食センターのPFI事業は進んでおり評価できるが、再任用制度との兼ね合いで今後どう調整するのが課題となる。アウトソーシングの推進は行財政改革の要となっていくため、きちんと目標を掲げていくべきである。権限移譲で市の業務が増えているが職員は増えていない。臨時職員の対応で凌いで</p>

	<p>いるようである。</p>
中村副室長	<p>「総合評価」を掲載していくのはいいと思うが、それぞれの内容は各課に確認が必要だと考えている。問題なのは、まだ、平成26年度は終了していないことで、例えば、第3次の部分だけではなく、これまでの第1次からの行財政改革の取り組み全体の評価を掲載していてもいいと思う。</p>
大塚委員長	<p>第1次と2次の評価を入れるのは、今さら感があるので、第3次の結果だけでいいのではないか。「総合評価」を入れる方向でいいか。</p>
間宮副委員長	<p>入れることはいいと思うが、内容の精査は必要だと思う。</p>
大塚委員長	<p>内容は担当課に確認してもらい、入れる方向でよろしいか。</p>
委員	<p>(委員了承)</p>
大塚委員長	<p>それでは、3頁までの議論はこれまでとして、続いて、資料の報告を事務局より願います。</p>
松井主任	<p>資料の4頁から6頁の「Ⅱ 市民意識の推移と行政情報の推移」について説明。</p>
伊藤委員	<p>4頁に「これまでを検証をします。」という文言がある。検証は仮定について証明することである。「1 市民意識の推移(市民意識調査による)」では、(1)の「住み心地評価の推移」に「定住に対する評価の推移」も含めて記述した方が、より深い考察ができるのではないかと思う。過去3年間では、10%くらいの開きがあり、この開きをどう捉えるかで対応が変わってくる。</p> <p>また、(2)の「吉川市全体の取り組みに対する満足度(市民満足度)」では、平成25年度に満足している割合が下がり、不満の割合が上がっているため、これを踏まえた施策が必要と考える。(3)の「財政力指数指標の推移」では、平成21年度をピークに下がっているが、要因分析も必要である。</p>
大塚委員長	<p>吉川市は人口が増加している。そのため、職員数や公共施設数により市債額などはすぐに変ってしまうだろう。行政情報比率の推移では、(1)の「職員数の推移」しかないため、これまで</p>

	<p>様々な行財政改革をやっているのだから、「職員数の推移」以外の項目を追加した方が良いと思う。もう少し項目を増やして、行政情報と財政情報とに分けてはどうか。</p> <p>行政情報をあと2つくらい報告し、財政情報は、(3)の「財政力指数指標の推移」を(1)にして、(4)の「市債残高と市民一人当たりの市債残高」を(3)にしてはどうか。あと、各項目に今後の見込みも含めた記述を1行程いれてはどうか。</p>
伊藤委員	職員数の推移は基本的には自然減ということか。
中村副室長	退職分を新規で補充しなかったことによるものである。
伊藤委員	再任用者は、職員数に含んでいるのか。
中村副室長	含んでいる。これまで当市では再任用者はそれほど人数がいなかった。来年度は60歳退職時に年金が出なくなるため、増える見込みである。
大塚委員長	(2)の「市税徴収率の推移」の中の「9割に満たない」という表現は具体的な数値を記述すべきである。市債残高についても、将来の事業を見据えた記述が必要であると思う。
間宮副委員長	この章は、これまでの検証をしているのだから、今後の見込みについての記述は入れなくてもいいのではないか。入れるのであれば、検証と今後の課題という導入文にした方がよい。
大塚委員長	今後についての記述をすべて削るか、それとも、今後についてを記述するのが良いか。
松井主任	他自治体の大綱を拝見すると、今後の課題を記述して、現大綱につなげているものが多く見られる。
間宮副委員長	それであれば、今後の課題について記述しても良いのではないか。
大塚委員長	それでは、今後の課題について、1、2行追加するということを決めたいがそれで良いか。
委員	(委員了承)

大塚委員長	行政情報に例えば、情報公開条例制定に基づく「情報公開件数」とか「職員数の推移」以外の項目を追加してできるか。
中村副室長	これまでの行財政改革の成果で、条例制定に基づくものとか、調べて加えることとしたい。
大塚委員長	それでは、これまでの議論によるものを加筆修正していただきたい。6頁までの議論はこれまでとして、続いての報告を事務局よりお願いする。
松井主任	資料の7頁から10頁の「Ⅲ 第4次よしかわ行財政改革大綱について」を説明。
伊藤委員	7頁の「1 行財政改革大綱の策定にあたって」の5行目の「そのため～なりません。」は後述の内容と重複するため削除した方が良い。「2 行財政改革大綱の体系」の図では、「①将来都市像」と「②まちづくりの基本理念」の説明に、総合振興計画の記述を削除し、各項目の内容を入れていただきたい。9頁の「②市民主役」では、協働の取り組みがうまく進んでいないため、「双方向の取り組みが必要である。」という内容のものを入れていただきたい。
大塚委員長	9頁の「②市民主役」の説明で、 <b>視点</b> の記述を追加した方が良い。『市民参加の仕組みを検討しているか。』、『協働の取り組みをしているか。』といったものが考えられる。また、10頁の「4 行財政改革大綱の柱立て（大柱・中柱）の構成」で、行財政改革とは、行政改革と財政改革の取り組みであるため、大柱の順序を変えて、Ⅰ行政運営、Ⅱ市民サービス、Ⅲ財政運営としてはどうか。
松井主任	第3次大綱では、「市民主役」と「健全財政」の2本柱であり、行政運営を先に位置付けしている。
大塚委員長	第3次大綱の流れを組み、順序を変更して良いと思う。
間宮副委員長	7頁の「1 行財政改革大綱の策定にあたって」の5行目の「そのため～なりません。」の記述は、大綱を策定するにあたっての全体を示す記述箇所であるため、あった方が良いと思う。

大塚委員長	<p>後に出てくる「改革のスクリーン」の部分の記述箇所の方を削ったり、簡潔にしても良いと思う。ここは、行財政改革に対する姿勢の部分であるため必要と思われる。</p> <p>続いて、11頁以降をみていく。まずは、11頁、21頁、25頁の大柱・中柱の説明の箇所について意見はあるか。</p>
伊藤委員	<p>25頁の「Ⅲ 市民サービス」の箇所で、職員研修は、研修後に職員が市民のために現場で何ができるか、市民ニーズを把握し、どのくらいのことができるかが職員の資質として重要だと思っている。</p>
中村副室長	<p>自己研さん、自己改革といった意味合いのものを記述していきたい。</p>
間宮副委員長	<p>大きな変更はないが、もう一度、内容を精査していただければ良い。</p>
大塚委員長	<p>続いて、12頁以降の各改革項目について見ていく。意見はあるか。</p>
伊藤委員	<p>全体的に「計画」欄の5年間のスケジュールについて、「検討時期」と「実施時期」を分けて記述していただきたい。</p>
松井主任	<p>今後、内部で最終調整をしていくため、可能な限り、分けて記述をするようにしていく。</p>
伊藤委員	<p>14頁のⅠ－1－⑥について、検討する内容と期間についてお伺いしたい。</p>
松井主任	<p>事前に伊藤委員より質問を受けていたため、各課の回答を報告していく。今年度、債権回収一元化検討委員会を庁内で立ち上げ、債権管理の指針を策定している。平成27年度には債権回収に関する条例を策定し、平成28年度から実施していく予定である。</p>
伊藤委員	<p>15頁のⅠ－1－⑦について、現状の対策との違いについてお伺いしたい。</p>
松井主任	<p>この項目は、第3次大綱にも掲載しており、平成21年度に8</p>

	<p>5. 1%だった収納率が、平成25年度では88.3%と管理指標をクリアしているものである。現状の対策との違いは特にはないが、自主財源の確保と公平性の担保により、引き続き、実施していくものである。</p>
伊藤委員	<p>16頁のI-2-①について、各セクションの事情により対策が異なると思うが、これに対する考えをお伺いしたい。</p>
松井主任	<p>現在、確定申告業務のように、一部の課に業務が集中する場合には、過去の担当者等が応援に回って、事務の分散をしている例がある。他にも臨時福祉交付金や選挙事務のように、国の動向によるもので全庁を挙げて取り組んでいる事務がある。今後についても、組織のなかで事務の分散化を図ってまいりたい。</p>
伊藤委員	<p>16頁のI-2-②について、施設運営のアウトソーシングや新駅地域の開発などの提案制度と同様のものなのか。それとも全く新しい事業を提案してもらうということなのか考えをお伺いしたい。</p>
松井主任	<p>全く新しい事業を提案してもらうことを想定している。事務事業評価シートから民間事業者等に事業提案をしていただき、コスト面とサービス面の両面から採択していくものである。</p>
伊藤委員	<p>17頁のI-2-③について、窓口業務の外部委託の導入時にマニュアルの策定を行うのか。</p>
松井主任	<p>先進自治体では、東京都足立区が窓口業務の外部委託化を実施しており、導入に当たってはこのような自治体の事例を参考に検討していくこととなる。導入する方向になれば、マニュアルの策定を行うものと見込んでいる。</p>
伊藤委員	<p>17頁のI-2-④について、この項目を含めていくつかこの後にもあるが、そもそも第4次よしかわ行財政改革大綱の改革項目として妥当ではない項目があると思うが、どのように考えているのかをお伺いしたい。</p>
中村副室長	<p>各課から改革項目として挙げられてきたものが資料に掲載されている。これらは大綱に掲載しなくても各課で実施していくものであり、大綱に掲載することで当委員会に諮ることができ、進捗状況や目標管理もしていくこととなる。そのため、可能であれ</p>

	ば掲載したいと考えている。
間宮副委員長	市役所の職員が自分達でこのような計画を立ててきた。そのため、今回は掲載して実施をしていいと思う。差し戻す必要はないと思う。
伊藤委員	18頁のⅠ-2-⑤について、過去の施策では効果が見られないが、新しい対策が何かあるのか。
松井主任	この項目は、第3次大綱にも掲載しており、平成21年度に1人1日当たり家庭系ごみ排出量が655gだったものが、平成25年度では633gと管理指標をクリアしているものである。平成25年度から10か年の計画期間である「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、引き続き、実施していくものである。
伊藤委員	19頁のⅠ-2-⑦と⑧について、地方公会計の整備と公共施設マネジメントの推進とは重なる部分がある。両者が連携し、作業を重複させないようにすることが必要と思うが考えをお伺いしたい。
櫻井主査	来年度から固定資産台帳の整備を財政課で行っていくため、これを政策室でもらい、公共施設マネジメントを実施していく。今後も連携を取りながら進めていく。なお、将来的には、それらを合わせて、事務を財政課へ移管していく予定である。
伊藤委員	24頁のⅡ-2-③について、現在、フリーアクセスフロアやオープンフロアを現庁舎の可能な箇所で実施しているのか。
松井主任	フリーアクセスフロアについては実施していないが、オープンフロアについては、一部で実施している。
伊藤委員	26頁のⅢ-1-①について、毎年実施している市民意識調査の結果は、施策に反映されているのか。
松井主任	市民意識調査の結果を、事務事業評価や施策評価の指標として活用しているものもあるため、施策に反映していると考えられる。
伊藤委員	27頁のⅢ-1-③について、「わかりやすい予算書・決算書」



	<p>の作成を行うことにより、どのように市民参加へとつながるのか。</p>
松井主任	<p>市の財政の状況を知っていただき、まずは入口の部分として、市の施策について興味をもっていただく。それが、審議会等への参加につながっていければと考えている。</p>
伊藤委員	<p>28頁のⅢ-1-⑤について、市民参画審議会について、新しい審議会の運営方法は何かあるのか。</p>
松井主任	<p>新しい運営方法は特にはないが、現在、実施している審議会を継続的に充実していきたいと考えている。市民参画手続のなかで成果の低い事業があれば、原因を分析し、改善へとつなげていきたい。</p>
伊藤委員	<p>30頁のⅢ-1-⑨について、現施策との違いを示していただきたい。</p>
松井主任	<p>この項目は、第3次大綱にも掲載しており、平成22年度に資源ごみリサイクル率が49%だったものが、平成25年度では50.72%と管理指標をクリアしているものである。施策については基本的に同じであるが、引き続き、実施していく。</p>
伊藤委員	<p>31頁のⅢ-1-⑩について、対象となる地域はどこか。</p>
松井主任	<p>現在は平沼周辺地区であり、今後については、新規で吉川美南駅東口が対象となってくることが予想される。</p>
伊藤委員	<p>31頁のⅢ-1-⑪について、市の支援内容を教えていただきたい。</p>
松井主任	<p>市からの補助金、会議の開催、運営といったものである。</p>
伊藤委員	<p>32頁のⅢ-1-⑫について、市の支援内容を教えていただきたい。</p>
松井主任	<p>市からの報償費、ごみの回収、工具の貸し出しといったものである。</p>

伊藤委員	32頁のⅢ-1-⑬について、市の支援内容を教えていただきたい。
松井主任	工具の貸し出し、違反広告物を除去した後の片付けといったものである。
伊藤委員	33頁のⅢ-2-②について、具体的な推進方法はあるのか。
松井主任	現在の制度では、職員の積極的な意向のもと改善事例が報告されている。他自治体では、件数を増やすために、強制的に提出させている自治体はあるが、当市ではそれまでは考えていない。
伊藤委員	35頁のⅢ-2-⑥について、既存施設等のバリアフリー化はどうか。
松井主任	庁舎では、1階では対応しているが、2階では対応していない。出先機関では、対応している施設が多い。
伊藤委員	39頁のⅢ-2-⑬について、民間保育所整備への支援はどのようなものか。
松井主任	民間保育園が整備をする時の補助金、情報提供といったものが挙げられる。
伊藤委員	39頁のⅢ-2-⑭について、施策内容に変化が見られないが、より促進させるためには、ファイナンスの面の注力が必要と思われるが、どう考えるか。
松井主任	今後は、現行の補助額で進めていく。補助金の増額については、検討課題である。
大塚委員長	以上で、各改革項目について終了となるが、今後の予定について事務局より報告していただきたい。
松井主任	今回の委員会でいただいた意見を踏まえて、1月の下旬にパブリックコメントを行う予定である。1か月間のパブリックコメントの意見を踏まえて、最終案として3月の委員会でお示しし、決定していくことになる。

<p>大塚委員長</p> <p>司会（櫻井主査）</p>	<p>今回の意見を集約した大綱案を、パブリックコメントに出す前に報告していただきたい。これで本日の委員会は終了する。</p> <p style="text-align: center;">————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の委員会の議事を終了とする。これをもって、平成26年度第6回行財政改革推進委員会を閉会する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成26年12月18日</p> <p style="text-align: center;">署名委員（間宮副委員長 自署）      署名委員（伊藤委員 自署）</p>	